



Building materials



Chemicals



Ceramics



2025年 6月16日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 布川 明
(証券コード：4026)

2025年4月期 決算説明資料

～決算概要及び中期経営計画～

I 2025年4月期 業績	2
1. 業績概要	3
2. 営業利益分析	4
3. セグメント別業績	5
4. 財政状態	7
5. キャッシュ・フローの状況	8

II 2026年4月期 業績予想	9
1. 業績予想	10

III 中期経営計画(ローリング) ー2026年4月期～2028年4月期	11
1. 計画概要	12
2. 2026年4月期～2028年4月期 業績計画	13
3. 化成品事業：セラミックス	14
4. 化成品事業：マグネシウム	15
5. 窯業系建材事業	16
6. ゼロCO2の実現に向けた取組み	17
7. 資本コストや株価を意識した経営指標	18

IV 株主還元	19
---------	----

1. 株主還元	20
---------	----

V 補足資料	21
--------	----

1. 当社について	22
-----------	----

2. 環境への取組み	34
------------	----

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

I 2025年4月期 業績



I -1. 業績概要

(単位：百万円)

	2024/4期 通期実績	2025/4期 通期実績	前期比		2025/4期 通期予想(※3)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	25,974	27,405	+1,430	+5.5%	27,400	+5	100.0%
建材	14,144	15,090	+945	+6.7%	14,700	+390	102.7%
化成品	11,829	12,315	+485	+4.1%	12,700	△384	97.0%
マグネシウム	9,838	10,414	+576	+5.9%	10,500	△85	99.2%
セラミックス	1,991	1,900	△90	△4.6%	2,200	△299	86.4%
営業利益	2,117	1,786	△331	△15.7%	2,350	△563	76.0%
建材(※1)	922	909	△12	△1.3%	1,050	△140	86.7%
化成品(※1)	1,844	1,669	△174	△9.5%	2,070	△400	80.6%
経常利益	2,073	1,718	△355	△17.1%	2,300	△581	74.7%
(経常利益率)	(8.0%)	(6.3%)	—	—	(8.4%)	—	—
当期純利益	1,620	1,433	△187	△11.6%	1,650	△216	86.9%
減価償却費	1,802	1,978	+175	+9.8%	2,049	△70	96.6%
EBITDA(※2)	3,920	3,764	△155	△4.0%	4,399	△634	85.6%

※1 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

※2 (営業利益+減価償却費)

※3 公表日2024年6月12日

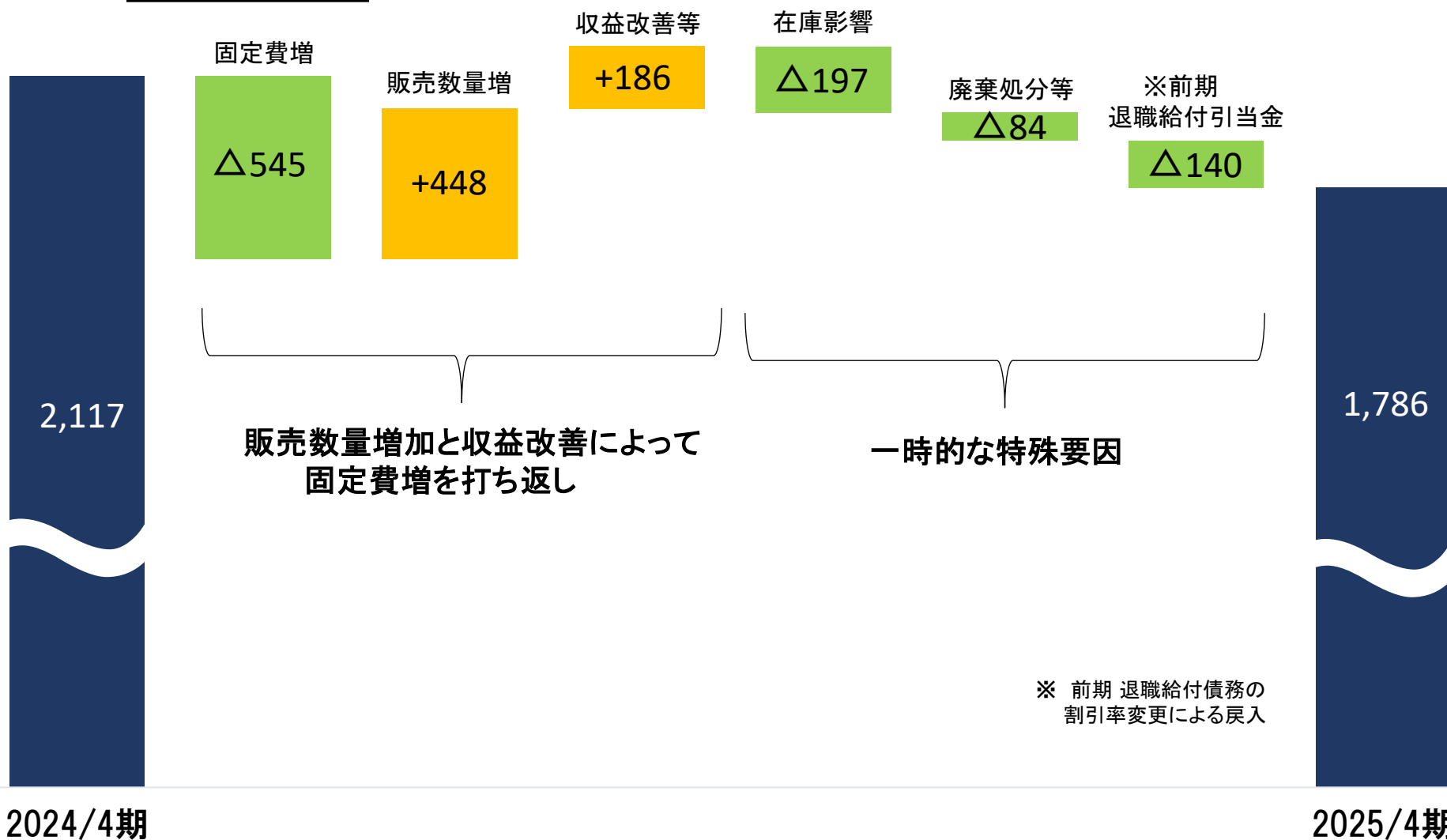
- ◇ 売上高は建材事業(+6.7%)、化成品事業のマグネシウム(+5.9%)増収、セラミックス(△4.6%)の減収
- ◇ 営業利益は、建材事業(△1.3%)、化成品事業(△9.5%)ともに減益
- ◇ 予想比は、全社売上高100.0%の達成率、当期純利益は86.9%の達成率

I -2. 営業利益分析

(単位：百万円)

営業利益の増減要因(対前期比)

- ・減価償却費△174
- ・人件費 △333



I -3. セグメント別業績【窯業系建材事業】

(単位：百万円)

	2024/4期 通期実績	2025/4期 通期実績	前期比	
			増減金額	増減率
売上高	14,144	15,090	+945	+6.7%
住宅	11,687	12,837	+1,149	+9.8%
高級軒天ボード	3,291	3,575	+284	+8.6%
(高級軒天比率)	(23.3%)	(23.7%)	—	—
非住宅	2,457	2,252	△204	△8.3%
(非住宅比率)	(17.4%)	(14.9%)	—	—
セグメント利益	922	909	△12	△1.3%

2025/4期 通期予想(※)	予想比	
	増減金額	達成率
14,700	+390	102.7%
11,902	+934	107.8%
3,558	—	—
(24.2%)	—	—
2,797	△544	80.5%
(19.0%)	—	—
1,050	△140	86.7%

(参考) (単位：万戸)

新設住宅着工戸数	80.0	81.6	+1.5	+2.0%
----------	------	------	------	-------

※ 公表日2024年6月12日


うち、戸建住宅は
(持家+一戸建分譲住宅)
前期比△2.2%

- ◇ 住宅分野は、高級軒天ボードが堅調に推移
サイディング及びけい酸カルシウム板(プライケイカル)を拡販し増収
- ◇ 非住宅分野は、前年下期からのビル工事遅れが続いており減収
- ◇ セグメント利益は、固定費増や在庫減の影響があったものの、値上げ効果や増収により、前期比△12百万円に留まる

I -3. セグメント別業績【化成品事業】

(単位：百万円)

	2024/4期 通期実績	2025/4期 通期実績	前期比		2025/4期 通期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	11,829	12,315	+485	+4.1%	12,700	△384	97.0%
マグネシウム	9,838	10,414	+576	+5.9%	10,500	△85	99.2%
国内	4,368	4,506	+137	+3.2%	4,708	△202	95.7%
海外	5,469	5,908	+438	+8.0%	5,791	+116	102.0%
(海外比率)	(55.6%)	(56.7%)	—	—	(55.2%)	—	—
セラミックス	1,991	1,900	△90	△4.6%	2,200	△299	86.4%
セグメント利益	1,844	1,669	△174	△9.5%	2,070	△400	80.6%

※ 公表日2024年6月12日

- ◇ マグネシウムは、海外向けサプリメント用途の酸化マグネシウムや工業用途の難燃水酸化マグネシウムの需要好調により増収(+5.9%)
- ◇ セラミックスは、レーザー向けの減少により減収(△4.6%)
- ◇ セグメント利益は、増収があったものの、固定費増に加えて、セラミックスの棚卸資産の見直しに伴う廃棄処分の影響もあり、減益(△9.5%)

I -4. 財政状態

(単位：百万円)

	2024/4期 期末	2025/4期 期末	前期末比
現金及び預金	1,174	1,439	+264
売上債権	4,751	4,866	+114
棚卸資産	5,097	5,119	+22
建物、機械装置	14,361	13,652	△709
建設仮勘定	415	1,251	+835
資産計	29,747	30,731	+984
仕入債務	2,963	2,817	△145
借入金	9,943	8,924	△1,019
負債計	17,837	17,766	△70
純資産計	11,909	12,964	+1,055
負債・純資産計	29,747	30,731	+984
(自己資本比率)	39.8%	42.0%	+2.2%

◇ 前期に大型設備投資が完了し、借入金が減少

I -5. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2024/4期 期末	2025/4期 期末
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,342	3,091
実質営業キャッシュ・フロー	3,841	3,656
税引前当期純利益	2,038	1,677
減価償却費	1,802	1,978
運転資金キャッシュ・フロー(増：△) ※1	※2△1,082	△282
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,641	△1,239
固定資産の取得	△5,592	△1,228
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	1,325	△1,586
借入金純増減(減：△)	1,977	△1,019
配当金の支払	△370	△389
4. 現金・現金同等物増減(減：△)	△973	264
5. 現金・現金同等物当期末残高	1,174	1,439

※1 運転資金キャッシュ・フロー = 売上債権増減 + 棚卸資産増減 - 仕入債務増減

※2 運転資金キャッシュ・フローに占める休日影響 2024/4期：△671百万円

Ⅱ 2026年4月期 業績予想



Ⅱ -1. 2026年4月期 業績予想

(単位：百万円)

	2025/4期 通期実績		2026/4期 通期予想		通期予想実績比	
	上期		上期		金額	増減率
売上高	27,405	13,904	28,100	13,500	+694	+2.5%
建材	15,090	7,703	15,400	7,500	+309	+2.1%
化成品	12,315	6,200	12,700	6,000	+384	+3.1%
マグネシウム	10,414	5,243	10,600	5,100	+185	+1.8%
セラミックス	1,900	957	2,100	900	+199	+10.5%
営業利益	1,786	1,018	2,200	940	+413	+23.2%
経常利益	1,718	982	2,100	900	+381	+22.2%
(経常利益率)	(6.3%)	(7.1%)	(7.5%)	(6.7%)	—	—
当期(四半期)純利益	1,433	706	1,500	650	+66	+4.7%
減価償却費	1,978	997	2,020	985	+41	+2.1%
EBITDA	3,764	2,015	4,220	1,925	+455	+12.1%
設備投資額	2,175	474	2,900	1,200	+724	+33.3%
配当(円/株)	44	22	46	23	+2	+4.5%
(配当性向)	(27.8%)	(28.2%)	(27.8%)	(32.1%)	—	—

- ◇ 建材は、大手ハウスメーカー向けの軒天ボードやサイディングの拡販により増収
- ◇ 化成品は、上期に米国関税政策の影響が一部あるものの、通期では高付加価値品の医薬・食添向け酸化マグネシウムやセラミックスの拡販により増収
- ◇ 損益面では、原材料コストアップや固定費増はあるものの、販売数量増、収益改善等により増益

Ⅲ 中期経営計画（ローリング）

—2026年4月期～2028年4月期



・ 2026年4月期～2028年4月期 の経営戦略

(1) 基本方針

- ・環境対策等の社会課題へ対応することによって持続的成長モデルを構築し、社会貢献と利益拡大を両立
- ・資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

(2) 基本方針に応じた活動内容

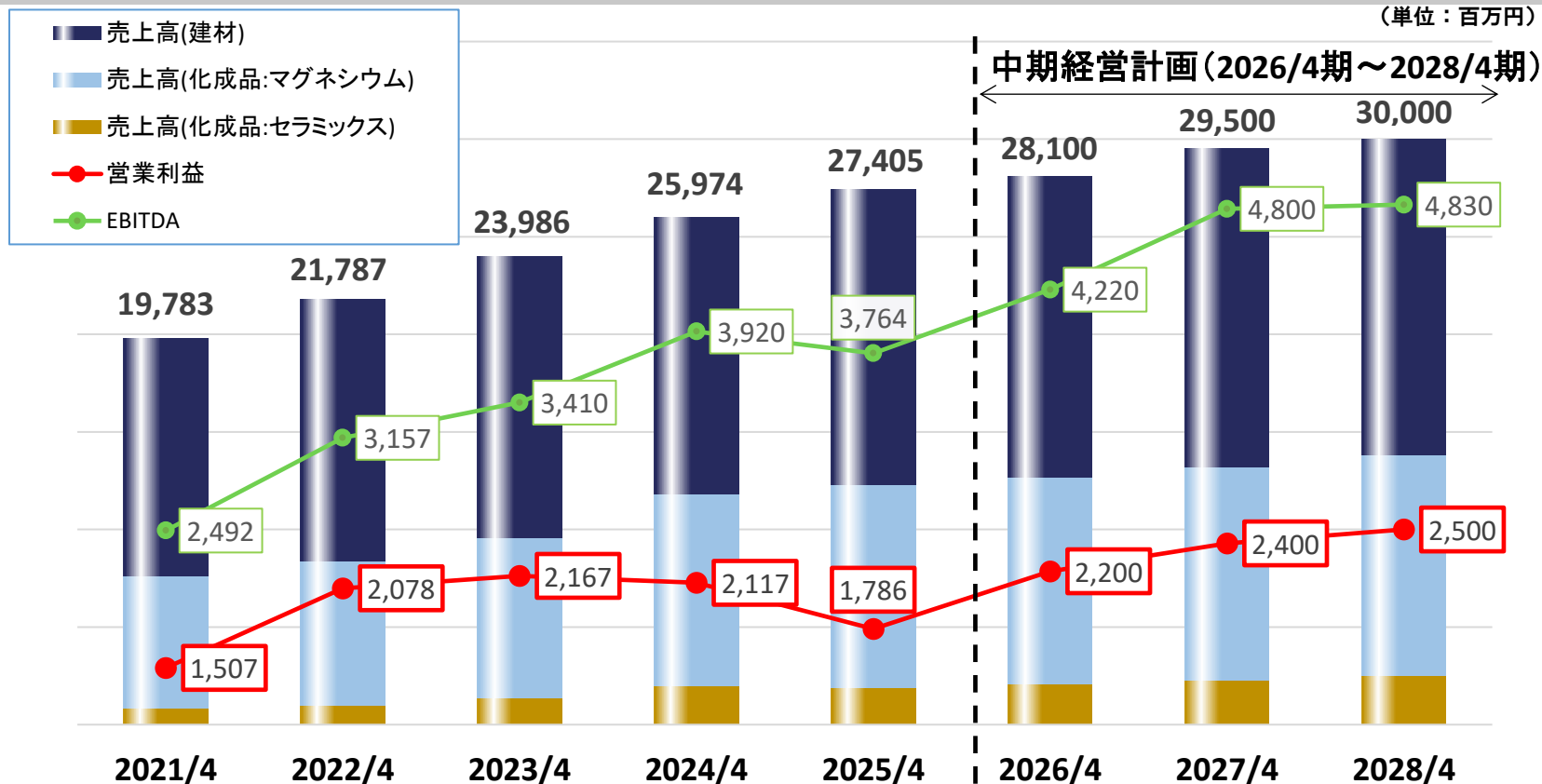
- ①2030年ゼロCO2※¹の実現に向け、排ガスCO2を回収・利用した商品の積極展開と共に、実用性の高いCO2リサイクル技術を幅広い分野へ展開
- ②セラミックスに代表されるコア技術の独創性を武器に、ハイエンド市場の需要創造
- ③AIを中心としたICT技術やKIP活動※²を深化させ、生産性向上や省人化を実現

※1 ゼロCO2: 自社工場内での排ガスCO2の排出をゼロにする当社独自の取り組み

※2 KIP活動: 当社独自の生産性向上の取り組み活動(Konoshima Innovation of Production)

Ⅲ -2. 2026年4月期～2028年4月期 業績計画

(単位：百万円)



売上高	19,783	21,787	23,986	25,974	27,405	28,100	29,500	30,000
建材	12,163	13,395	14,398	14,144	15,090	15,400	16,300	16,200
マグネシウム	6,765	7,415	8,236	9,838	10,414	10,600	10,900	11,300
セラミックス	855	976	1,351	1,991	1,900	2,100	2,300	2,500
営業利益	1,507	2,078	2,167	2,117	1,786	2,200	2,400	2,500
設備投資額	1,685	4,522	4,273	3,846	2,175	2,900	2,300	1,100
減価償却費	985	1,079	1,242	1,802	1,978	2,020	2,400	2,330

Ⅲ -3. 化成品事業:セラミックス

①中期経営計画(2026/4期～2028/4期)

(単位:百万円)

セラミックス	2025/4期	2026/4期	2027/4期	2028/4期	補足説明
売上高	1,900	2,100	2,300	2,500	・蛍光体、蓄冷材は堅調に推移 ・光学系、医療機器用小型レーザーなど民生用途の拡大 ・大出力レーザーの研究開発用途の増加

②重点項目

■ コア技術の独創性を武器に、顧客ニーズに合わせた更なる開発

⇒ 具体的事例:レーザー核融合の実現に向けた新素材開発を大阪大学レーザー科学研究所と共同研究

【実用化が期待される用途】

技術革新に不可欠なキーパーツとして研究開発用途に当社セラミックスを提供

大出力レーザー分野等での要求性能

＜コア技術の独創性＞

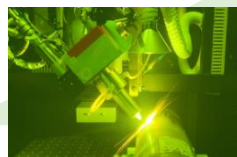
- 1.透明・緻密化・大型化
- 2.ドーパント(蛍光成分)の高濃度化・均質化
- 3.接合による複合化

単結晶では実現性が低い
領域への積極的アプローチ



医療機器用小型レーザー

レーザーピーニング



CFRP加工



宇宙太陽光発電

がん治療

車載用LiDAR



宇宙デブリの捕捉

グリーン水素

レーザー核融合
発電



大阪大学
「レーザー科学研究所100」
第6版より転載

実用化の上積みにより事業の発展拡大

Ⅲ -4. 化成品事業：マグネシウム

① 中期経営計画（2026/4期～2028/4期）

（単位：百万円）

マグネシウム	2025/4期	2026/4期	2027/4期	2028/4期	補足説明
売上高	10,414	10,600	10,900	11,300	米国の関税政策の影響として、2025/4期末から2026/4期初にかけ受注減はあったものの、現時点ではマイナス影響は限定的と想定

② 重点項目

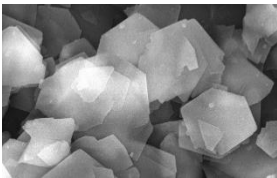
- 拡大する国内医薬市場やFSSC認定取得による北米向けサプリのシェアアップ（高利益品への販売シフト）
- 幅広い分野で開発の進む環境配慮型商品に不可欠な素材として拡販

【独自のコア技術による用途展開】

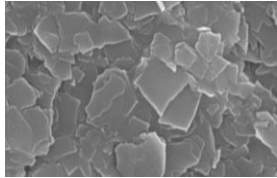


新規開発製品例

高アスペクト比粒子で分散性や配向性の高い板状ベーマイトや炭酸マグネシウム

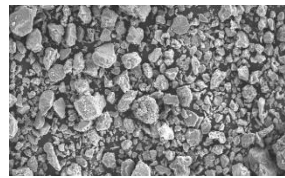


AlOOH



4MgCO₃・Mg(OH)₂・4H₂O

安全な元素から構成される無機層状化合物



Ⅲ -5. 窯業系建材事業

①中期経営計画(2026/4期～2028/4期)

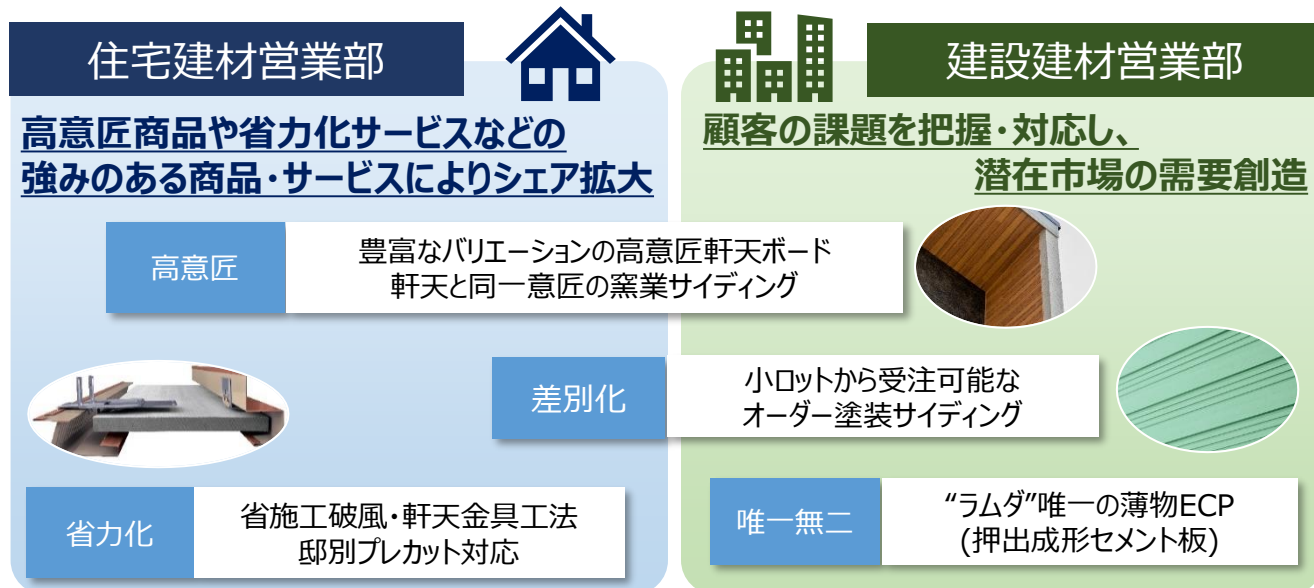
(単位:百万円)

建材	2025/4期	2026/4期	2027/4期	2028/4期	補足説明
売上高	15,090	15,400	16,300	16,200	・2028年4月期は住宅着工減少の影響が強まり減収 ・CO2固定化建材に対する市場評価は、まだ不確かなため受注増加は最低限で織り込み

②重点項目

- 住宅市場と非住宅市場を専任する営業体制の二部化（各市場に合わせた重点課題に注力）
- 独創性ある商品やサービスによる需要創造・シェアアップとその後のCO2固定化建材の積極展開

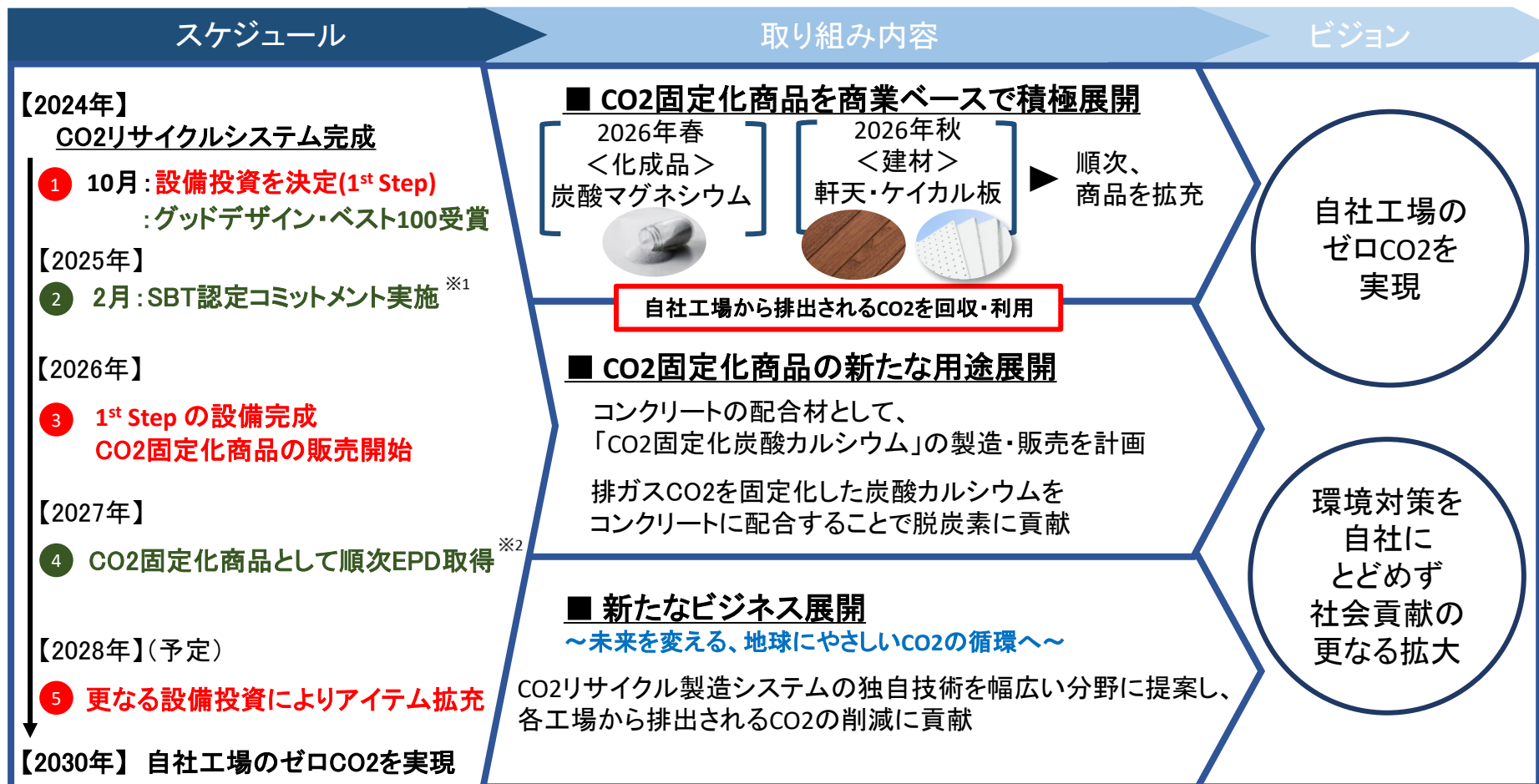
【独自のコア技術による用途展開】



2026年10月以降
排ガスCO2を回収・
利用したCO2固定化
建材へ順次置き換え

Ⅲ -6. ゼロCO2の実現に向けた取組み

排出するCO2を資源として有効利用。2026年度から商業ベースで積極展開



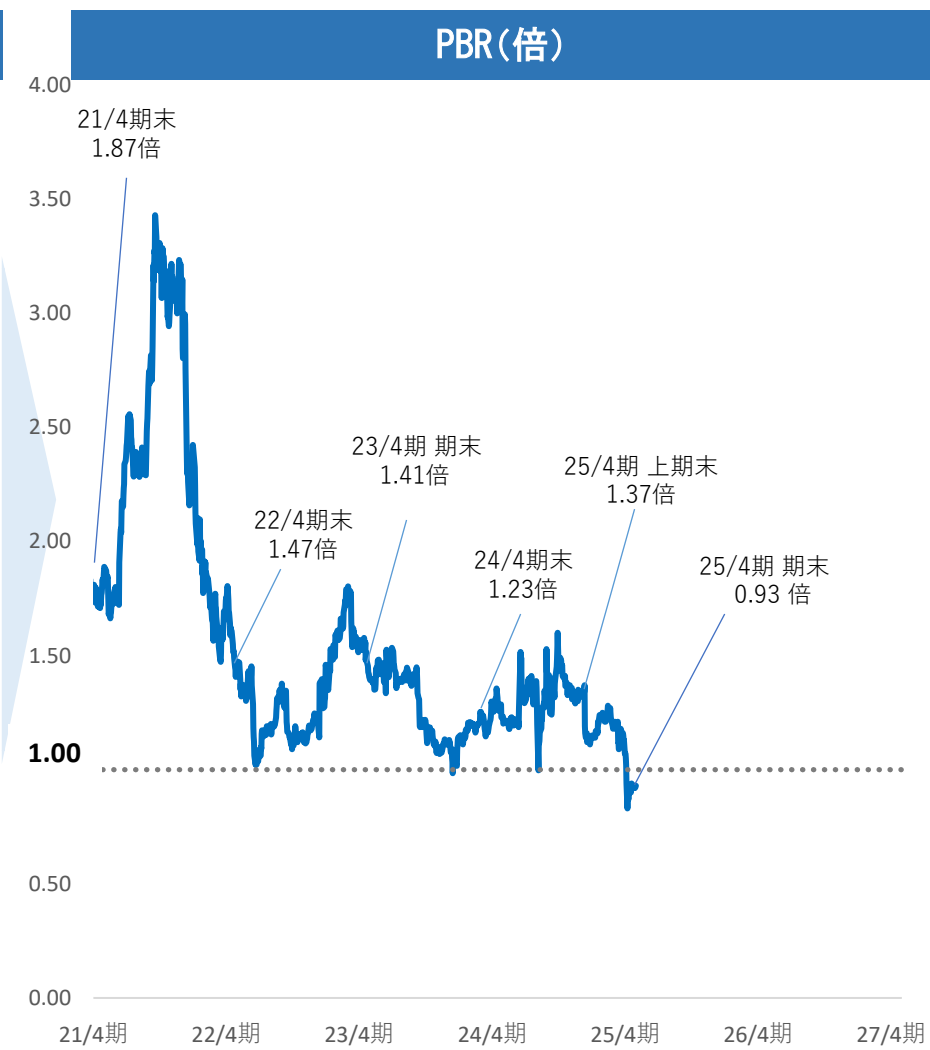
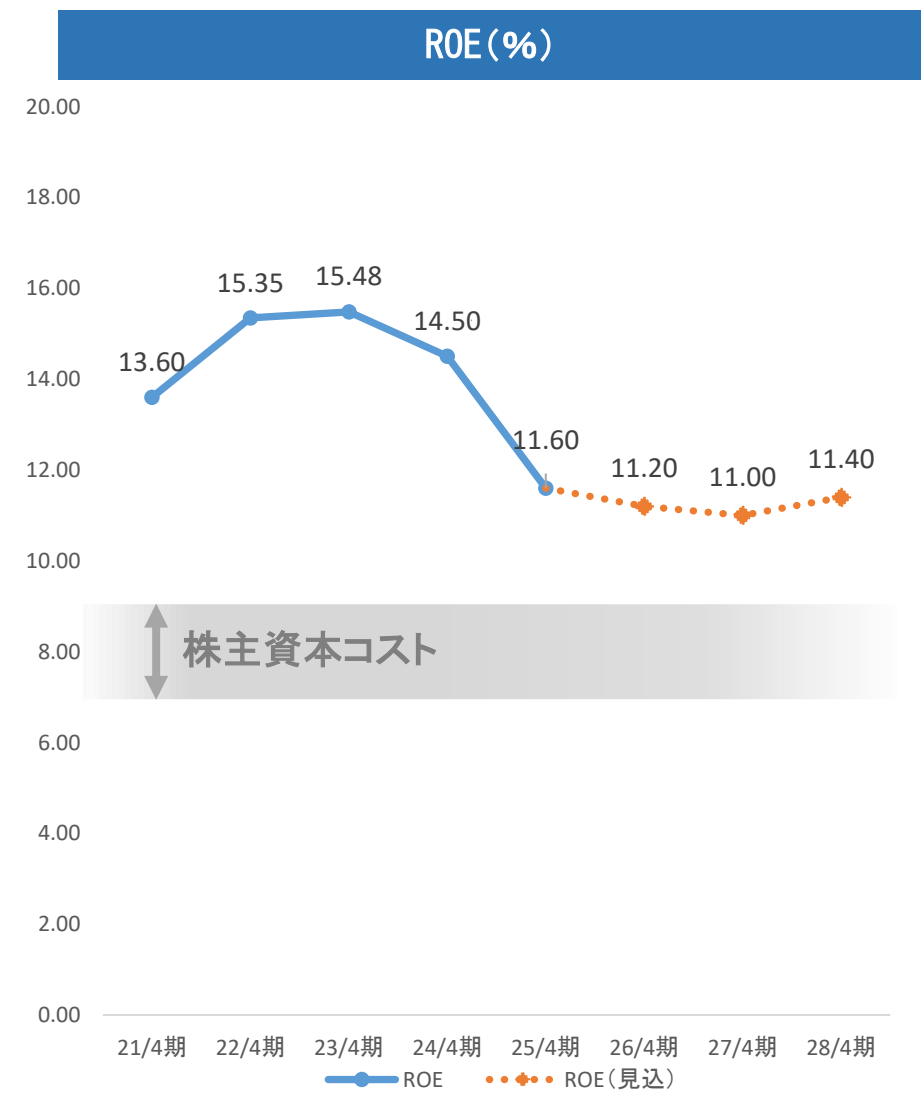
※1 SBT...パリ協定の目標に沿って企業が科学的根拠に基づき設定する温室効果ガス排出削減目標

※2 EPD...製品のライフサイクルにおける環境負荷を定量的に示した、ISO準拠の環境認証ラベル

Ⅲ -7. 資本コストや株価を意識した経営指標

ROEは株主資本コストを上回る水準で推移

中期経営計画を達成し、PBRの向上に努める



IV 株主還元



IV -1. 株主還元

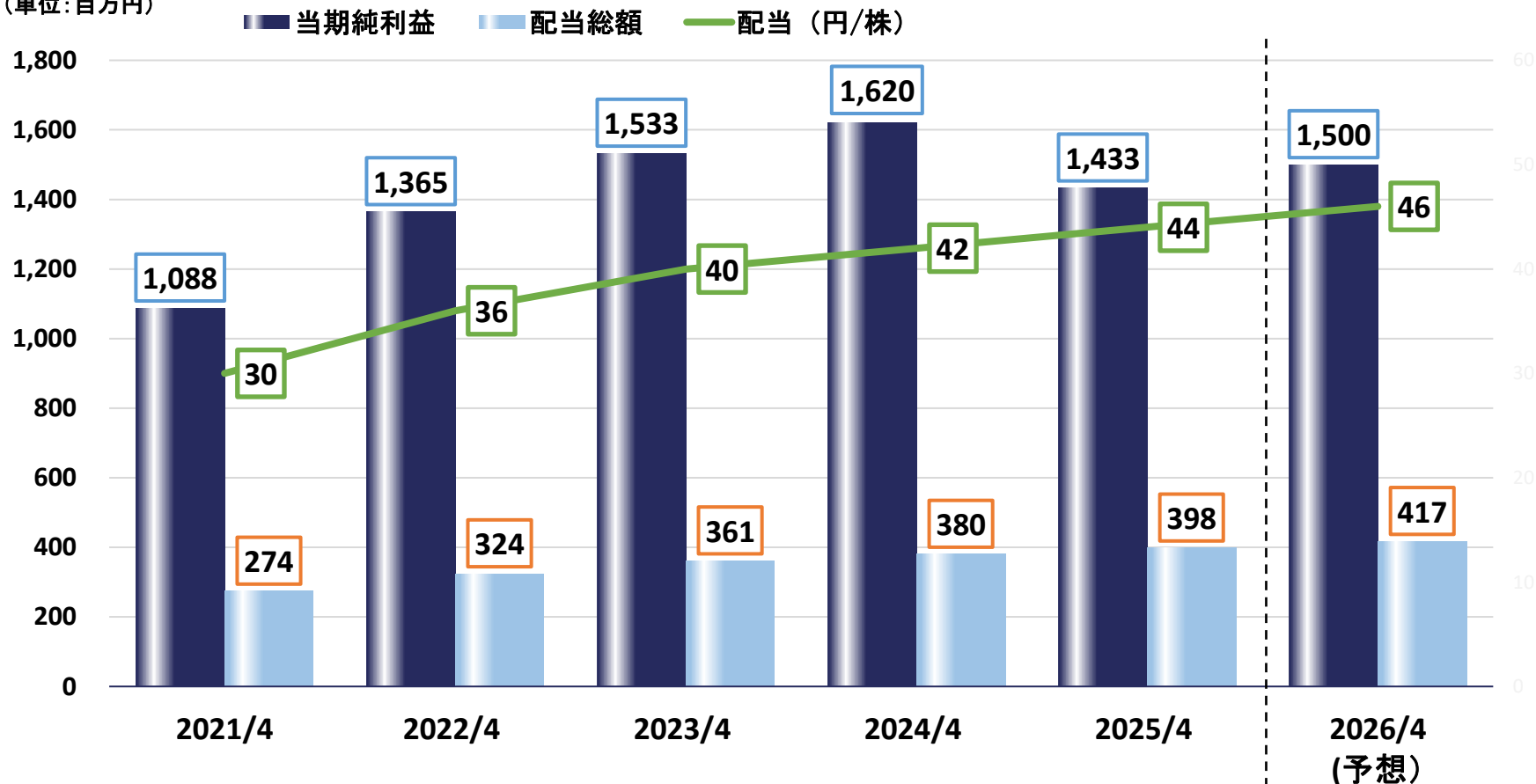
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保(設備投資資金)の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2026年4月期は、年間配当46円を予想

(単位:百万円)



配当性向	25.2%	23.9%	23.6%	23.5%	27.8%	27.8%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

V 補足資料



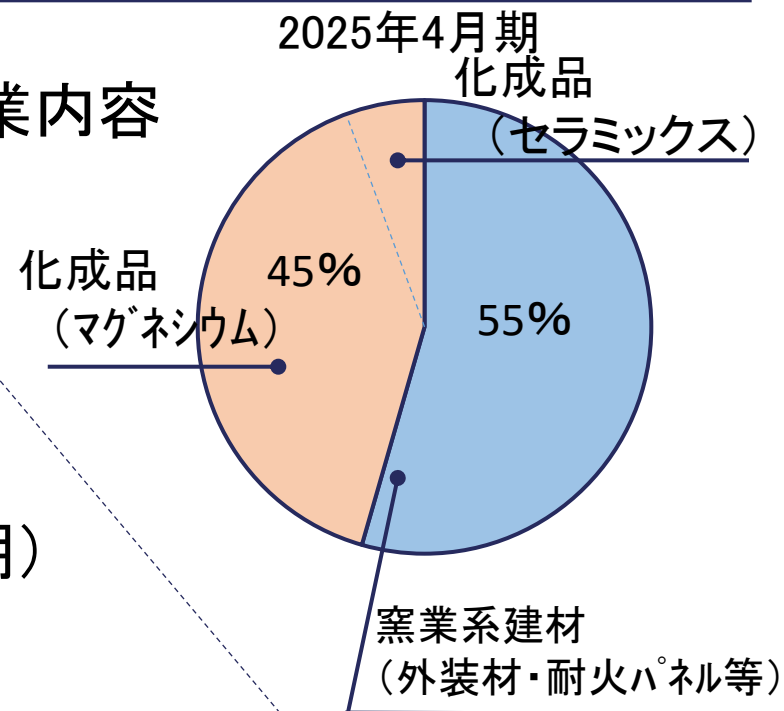
経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

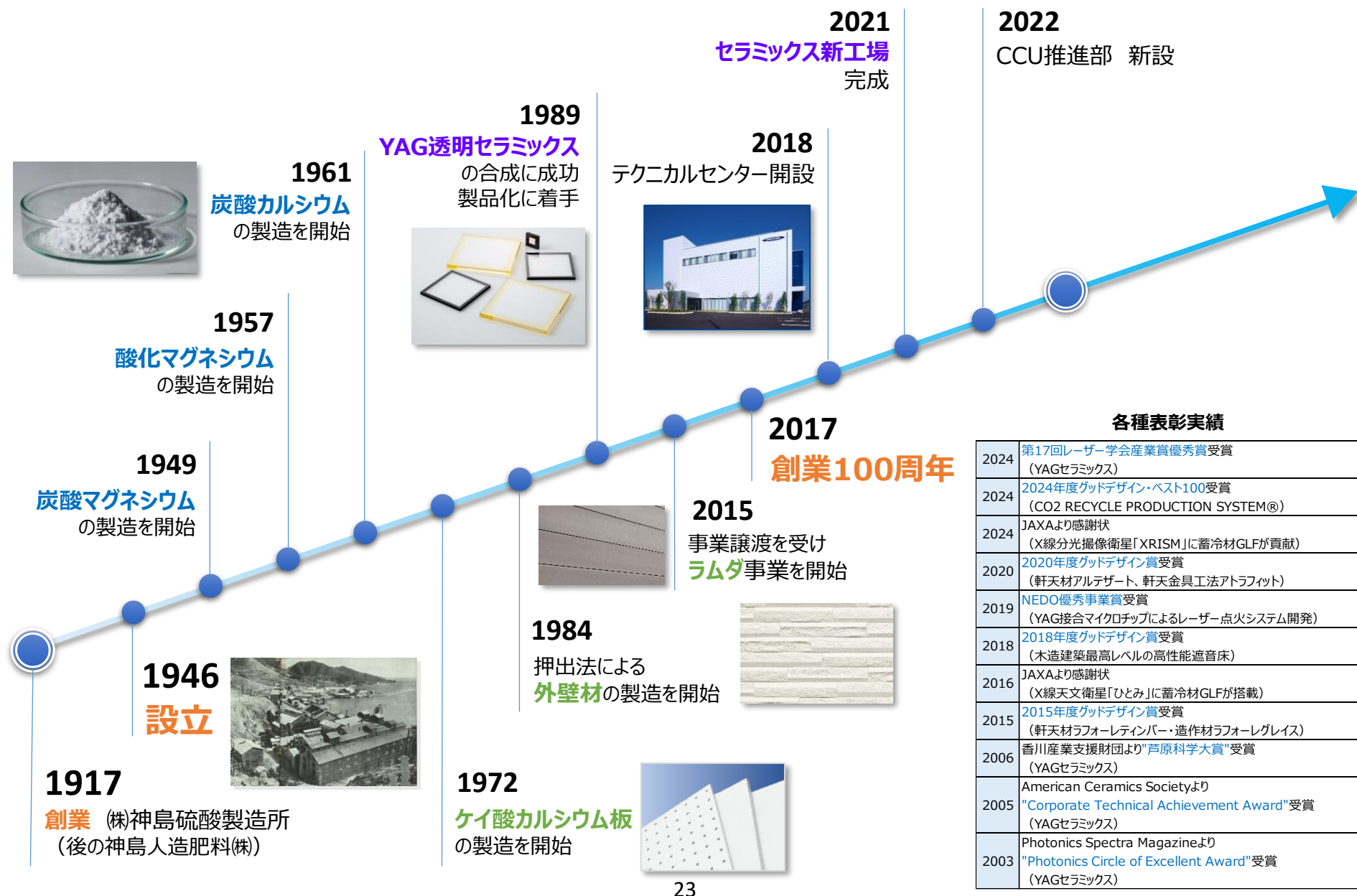
**「顧客満足を第一に考え、
より広くより深く社会に貢献する」**

創 業 1917年6月
設 立 1946年3月
資本金 13億20百万円
従業員 672名
売上高 274億5百万円（2025年4月期）
代表者 代表取締役社長 布川 明

事業内容



V -1. 当社について【沿革】



V -1. 当社について【拠点】



V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■ 住宅建材分野

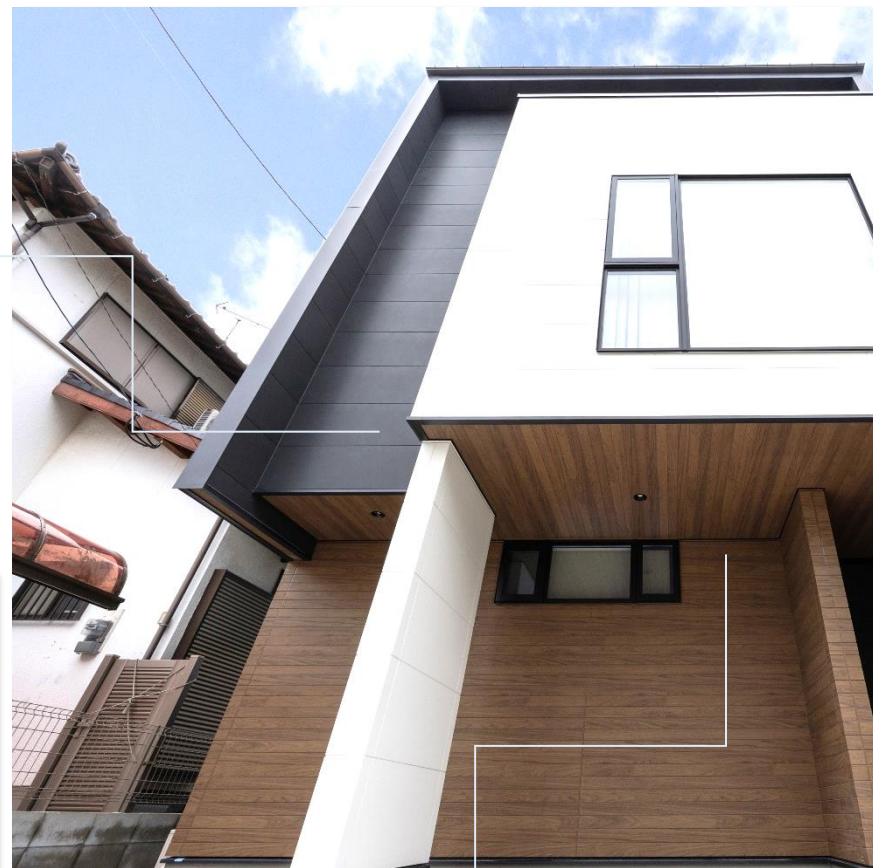
幅広いデザインに対応可能な外壁材
軒天との組み合わせもストロングポイント

特注色対応外壁

カタログ掲載**全柄**に顧客指定の**特注色塗装**対応
トレンドのフラット柄×ダークグレーが人気

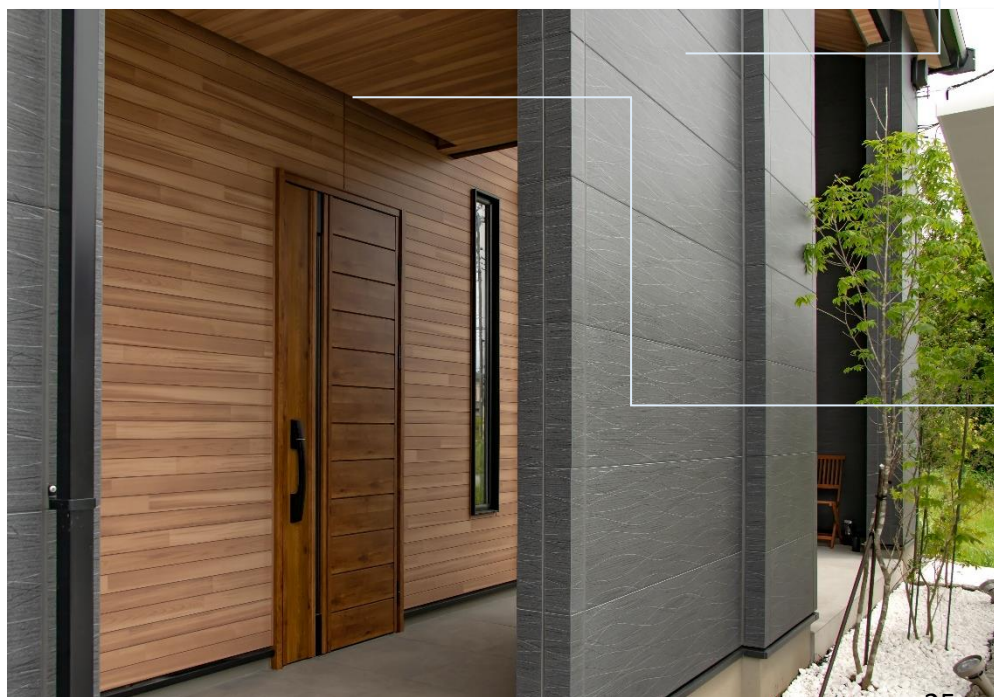
高意匠外壁アルテミュール

木目だけでなく金属・素地調や和柄デザインも展開
癖の無い柄はベースサイディングにも最適



高意匠軒天アルテザート×高意匠外壁アルテミュール

高意匠軒天アルテザートと外壁材アルテミュール
意匠を統一した軒天と外壁でデザインに一体感



V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■ 住宅建材分野

バリエーション多彩な軒天×破風 グッドデザイン賞を複数受賞
意匠だけでなく、省力化や省メンテナンスも追及

木目軒天ラフォーレティンバー×破風ラフォーレグレイス

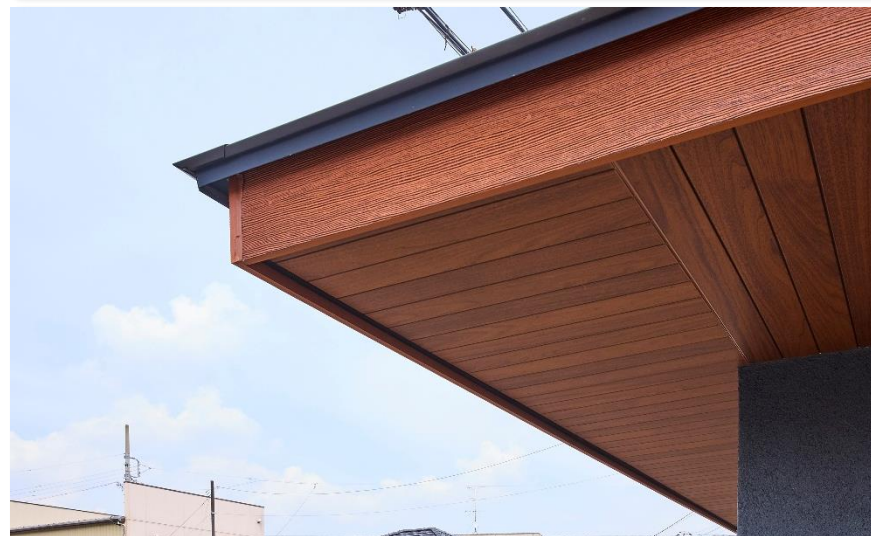
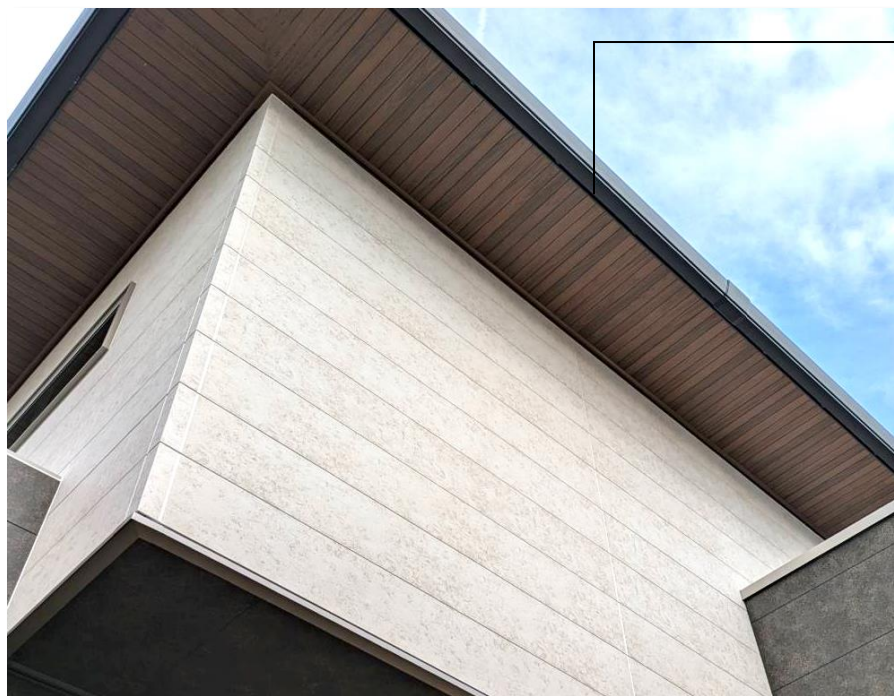
2015年度グッドデザイン賞を受賞

木目軒天流行の先駆けとして隆盛を誇り、今なお根強い人気

高意匠軒天アルテザート×軒天金具工法アトラフィット

2020年度グッドデザイン賞を受賞

省施工と高意匠を実現した画期的組み合わせ



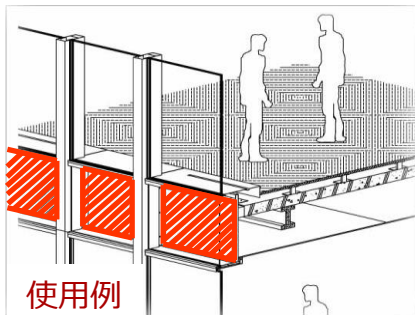
V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■建設建材（非住宅）分野

ソニックライトパネルNAS

ガラスカーテンウォール用耐火バックボード「ソニックライトパネルNAS」

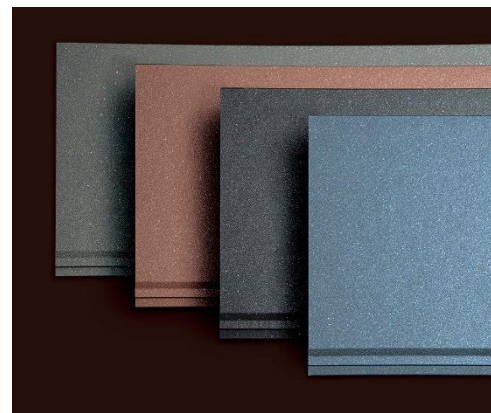
中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズの原板パネルを完全プレカット対応し納入



LAMBDA ラムダ

薄物押出成形セメント板「ラムダ」

高強度が売りの押出成形セメント板(ECP)としては業界最軽量
木目、石目、メタリックなど、様々な塗装で意匠にバリエーション



V -1. 当社について【窯業系建材事業】

■ 建設建材（非住宅）分野

高意匠軒天アルテザート

非住宅分野にも徐々に浸透、人気の高まりを見せる
大面積で使用されることでインパクトのある仕上がり



 DRESSE CUSTOMIZE  DRESSE PREMIUM

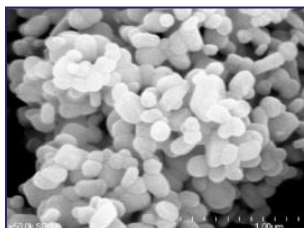
V -1. 当社について【化成品事業-マグネシウム】

◆通常ラインナップ商品

👉『海水法』により、『安価』で『安定供給』可能
天然原料を用い、高品位のマグネシウム化合物を製造



酸化マグネシウム



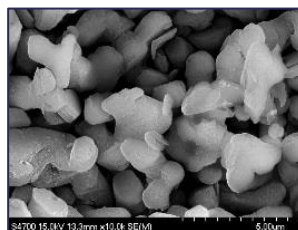
自動車
ゴム部品



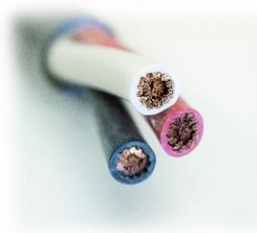
医薬用原薬
ミネラルサプリメント



水酸化マグネシウム



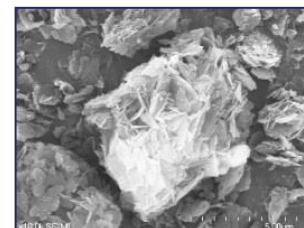
ケーブル被覆充填材



電気電子機器材料



炭酸マグネシウム



天然ゴム充填剤

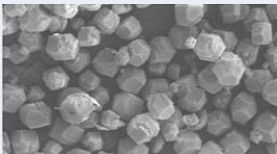
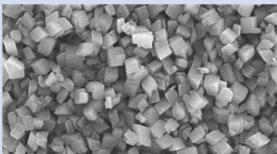
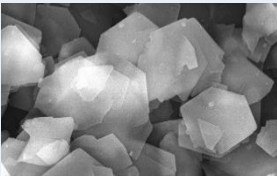
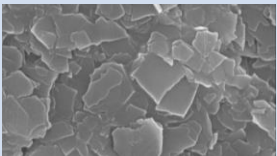
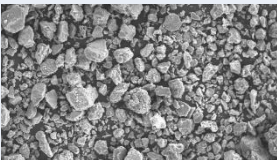


インク



V -1. 当社について【化成品事業-マグネシウム】

◆新規開発品

マグサーモ® (マグネサイト)	MgCO_3		➢ 比較的高い熱伝導性 ➢ モース硬度3.5(低摩耗性) ➢ 擬球状、紡錘状粒子も有り
アルキューブ® (立方体状ベーマイト)	AlOOH		➢ 熱分解温度500℃ ➢ 難燃性付与可能 ➢ 耐酸・耐アルカリ性
板状ベーマイト	AlOOH		高アスペクト比粒子 ➢ 高分散性、高配向性 ➢ 粒子径小さいものは衝撃強度高い
板状単分散 炭酸マグネシウム	$4\text{MgCO}_3 \cdot \text{Mg}(\text{OH})_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$		高アスペクト比粒子 ➢ 汎用品より高い分解温度 ➢ 高分散性、高配向性
重金属吸着材	無機層状化合物		➢ 安全な元素から構成 ➢ 様々な金属種に対応

V -1. 当社について【化成品事業-セラミックス】



◆極低温冷凍機用(GOS)

蓄冷材として使用

◆レーザー用(YAG)

高出力レーザーに使用

◆アイソレータ用(TGG)

高出力レーザーの戻り光抑制に使用

◆蛍光体(Ce:YAG)

高輝度LEDに使用

◆シンチレータ(Ce:YAG/Ce:LuAG)

大型放射光施設などでビームモニターとして活用

V -1. 当社について【化成品事業-セラミックス】

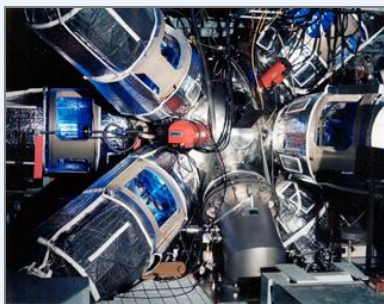
世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

使用用途例

レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレータ、センシング、放熱基板、など

レーザーフュージョンエネルギーシステム

重水素と三重水素に強力なレーザーパルスを照射して瞬間的に圧縮(爆縮)させ核融合反応を起こさせて大きなエネルギーとヘリウムを取り出すクリーンな発電システム



ターゲットチャンバー



大出力レーザー用 大型YAGセラミックス



大阪大学 レーザー科学研究所

ビームライン

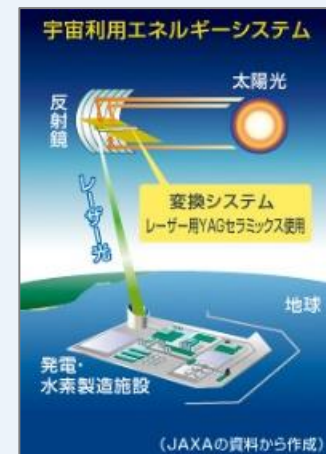
宇宙デブリ除去用レーザー

宇宙空間で昨今問題となっているデブリを、地上からレーザー照射を行い、レーザーアブレーションを起こすことにより、宇宙デブリを地上から処理する検討が進んでいる

※レーザーアブレーション: 物質にレーザーを照射した際、物質がプラズマ化や気化することにより物質表面から放出される現象

宇宙太陽光利用システム (SSPS)

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる
当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた(YAGセラミックス一部使用)



V -1. 当社について【化成品事業-セラミックス】

レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(100Hz)へ

(セラミックスでしか到達できない領域へ)

レーザー核融合発電、グリーン水素製造、宇宙デブリ対策など

人類が直面している問題への解決策の一つとして精力的に開発を検討

世界の開発状況及び販売先

日 本

- ・ 大阪大学レーザー科学研究所の革新的パワーレーザー開発プロジェクト「J-EPoCH」が始動
2022年度からコアユニットとなる100J、100Hzのセラミックスレーザー「SENJU」の開発がスタート
- ・ 国内メーカーやスタートアップ企業数社も国家プロジェクト(内閣府、NEDO、JST)で開発中

アメリカ合衆国

- ・ 2022年12月5日にLawrence Livermore研究所にて世界初の核融合の点火に成功し、世界を牽引
レーザー核融合実験で投入レーザー光の1.5倍のエネルギーを取り出すことに成功

EU(欧州連合)

- ・ 連合各国で資金を出し合い、HiLASEやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開
- ・ 世界初の100J級セラミックレーザーを開発、大出力レーザー研究の牽引役となりつつある

すべての過程で進める環境取組み



製造過程



化成品製造時の海水を
淡水化し有効利用



工場の排ガスCO2を
製品へ固定化



製造過程の歩留ロス分を
建材製品へ再利用



流通過程



モーダルシフトの
積極推進



中継基地設置により
ラストワンマイルの短縮



製品軽量化による
排ガスCO2削減



使用過程



プレカット推進による
建築廃材の削減



広域認定による
建築廃材の回収



パレットの回収・再利用

「CO2 ゼロ」を実現する。

KONOSHIMA CO2 RECYCLE PRODUCTION SYSTEM®



GOOD DESIGN AWARD 2024

BEST 100

私たちは地球環境を守るため、2024年に完成した
CO2リサイクルシステムを運用開始し、
ゼロCO2製品の開発に着手しました。

2026年にはCO2リサイクルシステムを活用した製品を、
建材・化成品双方で、量産・販売を開始。

CO2排出量50%削減を目指します。さらに設備を增強し、2030年には
全工場をCO2リサイクルシステムを活用した製品製造へ置き換えることで、
CO2排出ゼロを実現します。